

支援総額

# 5,485,000円

支援者

募集終了日

303人

2022年11月30日



# ビキニ被ばく船員訴訟支援募金

## ご協力ありがとうございました

### 目標500万を超え、548万5千円に

非核を願う人々に届いた「ビキニ事件は終わっていない」の訴え

「伴走している気持ちで

応援しています」(広島)

9月1日より500万円の目標でスタートしたクラウドファンディング（CF）「ビキニ事件／被ばく船員の救済を求める2つの裁判に『支援を』」は、11月末に548万5千円のご支援をいただいて終了しました。支援者は、303名に代理支援の方々を含めると500名を超えます。READYFORのユーザーのご支援も多く、「ビキニ事件はまだ終わっていない」未解決事件であること、そして二つの裁判の内容を『クラファンNEWS』で10号まで発行し、お伝えできたCFでもありました。

CF最終日の最後に支援していただいた広島の方のメッセージを紹介します。

「昨年、76年を経てやっと認められた広島黒い雨被爆者同様に、被ばく船員の皆さんの被害も正しく認識され救済されるべきです。人類が核を用いて同じ過ちを繰り返しそうになっている今、この裁判で正当な判決を得ることは世界の核利用の在り方を正すきっかけにもつながると考えています。伴走している気持ちで応援しています！」

## 厚労省に変化か

### 吉良富彦県議(共産)からの報告

高知県議会議員の吉良富彦議員から、11月24日、仁比聡平(共産) 参議員同席のもとで、厚労省保健局保健課企画法令第一係に対して、ビキニ被ばく船員の救済を求める交渉を行い、その結果が報告されました。主な回答の内容は、  
① ビキニ被災船員の救済について、課題として認識し、省庁間で共有し検討するとしたこと  
② 労災認定について、法的救済の取り

## 裁判支援「継続寄付」準備へ

### 裁判の被告は、国とけんぽ協会

ビキニ被ばく船員訴訟裁判の被告は、国と全国けんぽ協会であり、裁判は長丁場となります

今後支援する会は、この度のCFでのご支援いただいた全国の支援者のみなさんに、引き続き裁判の支援をお願いしていくために、「継続寄付」支援のマンスリーサポーターの募集を、2023年1月1日よりスタートする準備に入りました。

暮らしは驚異的な物価高騰で厳しさを増してきていますが、ビキニ被ばく船員訴訟は、高知の原告だけにとどまらず、全国の被ばく船員の救済にもつながる裁判です。

どうかご理解いただき引き続きご支援をよろしくお願ひします。

## 高知地裁口頭弁論

12月16日(金)午後2時

第3回口頭弁論は、公海上で国際法違反の水爆実験を行ったアメリカ政府に対して日本政府が、わずか200万ドルの「見舞金」で政治決着を図ったことで、被ばく船員らの損害補償を求める請求権が奪われた根拠について主張します。傍聴への参加をよろしくお願ひします

## 東京地裁口頭弁論

12月27日(火)午後1時半

第2回口頭弁論は、有識者会議が被ばく線量評価で採用した元々のデータ、しきい値線量の考え方、内部被ばくの影響の評価の仕方などの根本的な問題について反論します。弁護士は、様々な分野の専門家の協力を得て、有識者会議の報告を論破する準備をすすめています。

コロナ禍ですが、東京近郊の方々の積極的な傍聴をお願いします。

## CFで、リターンを

### ご希望された皆さんへ

リターン有りのコースを選択いただいた皆様には、2023年1月末まで商品をお届けできるよう作業を進めてまいります。どうぞお楽しみにお待ちください